

2017年9月6日

## 2017年カーボンブラック需要年央見直し

カーボンブラック協会

内閣府の8月の月例経済報告によると、国内は個人消費、設備投資等共に持ち直しの動きが見られ、先行きについても各種政策の効果もあり、緩やかに回復に向かうことが期待される。また、海外でも景気は緩やかに回復が続いているものの、今後の中国を始めとする新興国経済の先行きや、政策に関する不確実性による影響、一部地域の地政学的リスクの高まりによる影響等について留意が必要としている。

こうした経済環境の中で、自動車タイヤの国内需要については(一社)日本自動車タイヤ協会が、新ゴム消費量については(一社)日本ゴム工業会が年央の見直しを発表した。

これによると、自動車生産台数は前年実績比3%増、タイヤの国内需要を年初見直し比0.5%増としているが、一方、新ゴム消費予想量は、前年実績比でタイヤ用が0.2%増、タイヤ以外の一般ゴム用が2.3%増と年初時の見通しと同値である。

当協会は、(一社)日本自動車タイヤ協会と(一社)日本ゴム工業会の見直しをベースとし、その他カーボンブラックの輸出入の現況も織り込み、本年のカーボンブラック需要の見直しを行った。

その結果、カーボンブラック総需要(輸出・輸入込)は、年間で前年実績比 100.5%となった。これは、年初見直し時の前年比増減率とほぼ横這いとなっている。

「需要見通しの指標」については、添付別紙【表1】を、「カーボンブラック需要見直し」については、【表2】を、輸入見直しについては【表3】を参照願いたい。

以上

【表1】 2017年年央見直しの指標

『年初見通し』の※前年比は前年見込み比%

	2016年実績		2017年年初見通し		2017年年央見直し	
	数量	前年比 (%)		前年比※ (%)	数量	前年実績比 (%)
自動車生産 (台)	9,205,000	99	9,239,000	101	9,509,000	103
タイヤ生産 (トン)	1,019,800	96	1,029,110	100	1,021,840	100
一般ゴム生産 (トン)	257,900	98	264,090	102	263,760	102
新ゴム消費量計(トン)	1,277,700	97	1,293,200	101	1,285,600	101

【表2】 2017年カーボンブラック需要年央見直し

数量単位;トン、『年初見通し』の※前年比は前年見込み比%

	2016年実績		2017年年初見通し		2017年年央見直し	
	数量	前年比 (%)	数量	前年比※ (%)	数量	前年実績比 (%)
タイヤ	511,940	96.4	515,584	100.0	511,942	100.0
一般ゴム	147,003	98.0	150,531	102.3	150,343	102.3
ゴム用計	658,943	96.8	666,115	100.5	662,285	100.5
非ゴム	38,136	102.7	38,000	99.6	37,500	98.3
内需計	697,079	97.1	704,115	100.5	699,785	100.4
輸出	49,848	103.7	49,000	100.0	51,000	102.3
[内ゴム用計]	17,649	100.3	17,000	96.3	17,000	96.3
総需要	746,927	97.5	753,115	100.4	750,785	100.5
[内ゴム用計]	676,592	96.9	683,115	100.4	679,285	100.4

【表3】 2017年カーボンブラック輸入動向年央見直し

数量単位;トン、『年初見通し』の※前年比は前年見込み比%

	2016年実績		2017年年初見通し		2017年年央見直し	
	数量	前年比 (%)	数量	前年比※ (%)	数量	前年実績比 (%)
ゴム用	152,711	94.0	156,400	100.6	145,300	95.1
非ゴム用	13,641	97.1	13,600	100.6	14,700	107.8
合計	166,352	94.3	170,000	100.6	160,000	96.2